

令和4年度鶴見区区政会議 第1回地域保健福祉部会 会議要旨

1 日時 令和4年8月22日（月） 午後6時30分から午後7時57分

2 場所 鶴見区役所 3階 302会議室

3 出席者

（委員）

桑名部会長、綿世副部会長、勘崎委員、南畑委員、宮原委員

（鶴見区役所）

内田区長、貴田政策推進担当課長、中村市民協働課長、丹葉保健福祉課長、
浅田子育て支援・保健担当課長、大川生活支援担当課長、
木村総務課政策推進担当課長代理兼市民協働課長代理、大川市民協働課長代理、
日下保健福祉課福祉担当課長代理、上山保健福祉課保健担当課長代理、
仲田総務課担当係長、更家市民協働課担当係長、
辻岡市民協働課担当係長兼保健福祉課担当係長、當麻保健福祉課担当係長、
木田保健福祉課担当係長

4 議題

- (1) 令和4年度鶴見区区政会議の進め方について
- (2) 令和3年度鶴見区運営方針自己評価・令和5年度取組みの方向性について
- (3) 鶴見区将来ビジョンの方向性について

5 議事要旨

- (1) 令和4年度鶴見区区政会議の進め方について

事務局から、「令和4年度鶴見区区政会議スケジュール(案)」(資料1)に関する説明を行い、案のとおり了承された。

- (2) 令和3年度鶴見区運営方針自己評価・令和5年度取組みの方向性について

事務局から、「令和3年度運営方針自己評価・令和5年度取組みの方向性について」(資料2)に関する説明を行い、委員からの意見等の概要及び事務局からの回答は次のとおり。

- ・ ワンルームマンションにお住まいの方に対する町会加入の方策について、リーフレットの活用や不動産会社との連携などにより、協力依頼を進めていただきたい。また、地活では役員の高齢化が顕著であり、地域活動における文化やスポーツといった取組みについて、今後衰退することが危惧される。
- ⇒ ワンルームマンションにお住まいの若年層に対して、ホームページやSNSなどを活用し、地域に関する情報発信を検討していきたい。また、地域の役員における担い手不足の解消について

は、区内地域共通の課題であり、他区での取組みなども情報収集していきたい。さらに、研修等での機会を捉えて、当該研修講師から他都市の事例等を紹介された際には、別途地域へ提案させていただきたい。地域活性化に向けては、区役所と地域との協働が不可欠であるため、引き続き地域からのご意見等をいただきたい。

- ・ 地域における役員の高齢化への対策について、子ども会やPTAといった組織に属する方への接触が有効ではないか。それに関連して、学校と区役所との連携も必要ではないか。
- ・ 人口減少、少子高齢社会が進むなかで、各種団体の見直しも必要ではないか。

(3) 鶴見区将来ビジョンの方向性について

事務局から、「鶴見区将来ビジョンの方向性について」(資料3)に関する説明を行い、委員からの意見等の概要及び事務局からの回答は次のとおり。

- ・ 鶴見区将来ビジョンの適用期間は5年とのことであり、その間、PDCAサイクルを適切に回していただきたい。またSDGsの周知については、チラシなどを活用されてはどうか。
- ⇒ PDCAサイクルの徹底については、運営方針にて進捗管理を図り、スパイラルアップをめざしていきたい。またSDGsについては、個々にとって身近なものであることを理解いただきたく、引き続き広報紙などでも周知を図っていきたい。
- ・ 鶴見区将来ビジョンでは新しい項目が加わっているが、区役所職員の執行体制に変更はあるのか。
- ⇒ 現行体制のなかで、工夫をしながら取組みを進めていきたい。
- ・ 施策評価では、区民アンケート結果を活用されているが、それ以外の内容を加味したうえで、複合的な評価をすべきではないか。
- ⇒ ご指摘のとおりであると考えている。区政会議委員の皆様からのアンケート結果など、さまざまな指標や項目などを複合的に勘案し、評価していきたい。

6 会議資料

(1) 次第

(2) 令和4年度鶴見区区政会議スケジュール(案)(資料1)

(3) 令和3年度運営方針自己評価・令和5年度取組みの方向性について(資料2)

(4) 鶴見区将来ビジョンの方向性について(資料3)

(5) 令和3年度鶴見区運営方針